

KENKYUSHA'S
NEW
JAPANESE-ENGLISH
DICTIONARY

NEW JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY 1—2066

KOH MASUDA

General Editor

世界主要人名	207	帝	2086
政要その他	207	堺	2086
中 国	207	春式・廣告文例	2087
韓国・北朝鮮	207	官公序・官職名一覧	2084
世界主要地名	207	法人一覧	2089
政米その他	207	日本政府機関一覧	2101
中 国	207	人名表	2102
韓国・北朝鮮	2078	漢字中国音表記法	2104
東アシア通商保険	2079	各國通貨一覧	2109
世界の名作	2081	英米度量衡表	2110
著 作	2081	地圖測量式換算表	2110
著 者			



423
K 33

TOKYO KENKYUSHA JAPAN

COPYRIGHT © 1974
BY
KENKYUSHI LIMITED

研究社 新和英大辞典
KENKYUSHI'S NEW
JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY

FIRST EDITION 1918

SECOND EDITION 1931

THIRD EDITION 1954

FOURTH EDITION 1974

編集組織

主幹

増田 綱 元早稲田大学名誉教授

監修

羽柴 正市 日本大学教授
小沢 準作 元東京教育大学教授
山田 和男 一橋大学名誉教授

編集主任

市川 繁治郎 早稲田大学教授

編集協力

日南田 一男 武藏大学教授
箕谷 太郎 早稲田大学教授
金子 稔 明治学院大学教授

Gene S. Lehman 立教大学教授

和田 邦五郎 日自学園女子短期大学教授

執筆者

千葉 恒心 早稲田大学教授
羽柴 正市 日本大学教授
日南田 一男 武藏大学教授
市川 繁治郎 早稲田大学教授
岩田 譲 静岡県立磐田南高校教諭
箕谷 太郎 早稲田大学教授
金子 稔 明治学院大学教授
増田 綱 元早稲田大学名誉教授
水野 清太郎 実践女子大学講師
新島 通弘 早稲田大学教授
大村 喜吉 埼玉大学教授
小沢 準作 元東京教育大学教授
佐々木 学 元麗澤大学教授
和田 善太郎 埼玉大学教授
山田 和男 一橋大学名誉教授

山賀 長治 NHK総合放送文化研究所

横井 正千代 元NHK総合放送文化研究所

まえがき

研究社「新和英大辞典」第4版は1954年発行の第3版に大改訂を加えたものであります。この辞典の前身である「武信和英大辞典」が初めて世に出たのは1918年、研究社はまだ創業日も浅いころで、微少な出版社の力に余る大事業であると、学会からも業界からも大いに懸念されたものであります。もし主幹武信由太郎先生や、この仕事を研究社に引き受けさせる幹旋役をつとめられた岡倉由三郎先生の激励と、蔭ながら援助を惜しまれなかつた喜安璽太郎先生のご厚意とがなかつたならば、恐らく成功は覚束なかつたことと思われます。幸いに5年の歳月を費して画期的な和英辞典を完成することができ、研究社はこれによって辞典界に確固たる第一歩を踏み出したのであります。

この「武信和英」初版の全面的改訂によって1931年に誕生したのが、研究社「新和英大辞典」であります。内容の量において旧版に倍するばかりでなく、当時東京のイギリス大使館参事官で日本語および日本文化の権威であったGeorge B. Sansom氏の協力を得て、面目を一新するものとなりました。ただ残念でならなかつたのは、主幹武信先生が完成を目前にして逝去されたことであります。

その後、日中戦争を経て、やがて太平洋戦争の勃発をみるに至り、この辞典の改訂に着手することもかなわぬまま、約20年を経過しました。第二次世界大戦後の大変貌に対処する必要からも、これは真に本意ない次第であります。やむなく1949年に新語の補遺を添えた増補版を刊行するとともに、他方、直ちに勝俣銓吉郎先生を主幹に戴いて全面的改版に着手いたしました。爾来5年、その間には編集主任鈴木芳松先生のご逝去という不幸もありましたが、関係諸先生の特別のご努力により、1954年「新和英大辞典」第3版を出版することができました。

しかし次の改訂作業開始までには若干の日時をおかざるを得ませんでした。それは研究社が、前の年に刊行した「新英和大辞典」第3版の改訂に全力を傾けていたためであります。しかし、1960年、「新英和大辞典」第4版の刊行によって宿願の一半を達成した社長小酒井五一郎は、いよいよ「和英」改訂の企画を練り始めました。これを自分の最後の仕事とする意気込みであります。すでに老齢、しかも癌の侵すところとなっていた彼は、企画さえもまだ緒につかぬうちに、1962年5月、82歳の生涯を終えました。

このような事情から、この「新和英大辞典」第4版の編集作業が正式に発足したのは、1962年夏であります。第3版の主幹であられた勝俣先生はすでに亡くなられていたので、鈴木先生の後を受けて編集主任を勤められた増田綱先生に主幹をお願いし、羽柴正市、小沢準作、山田和男の3先生に編集に当たっていただくことになりました。編集方針としては、(1) 第3版の不備・誤謬を補正し、(2) 日本語の現在の姿を如実に反映し、(3) 科学・技術をはじめ諸方面の専門語についても配慮すること、を主眼としました。こうして別表記載の諸先生にお願いして原稿執筆の始まったのが1963年であります。

爾来10年、作業の進行は決して円滑とは申せませんでした。特に本辞典のために畢生の情熱と努力を傾けられた増田主幹が、その完成をまたず1970年2月、不帰の客となられ、またそれより先、1969年3月、編集・校閲の面で精力的にご尽力を賜わった小沢先生のご逝去に遭遇したことは、眞に痛恨に堪えぬ出来事であります。本辞典の校正を終えるにあたり、在りし日のご恩に満腔の感謝を捧げ、謹んでご冥福を祈ります。

このような不測の事故に妨げられながらも、関係者ご一同の献身的ご努力のお蔭で、この面目を一新した第4版を世に送り得ることになりました。新版の特色は次の諸点にあります。

1. 見出し語約8万、合成語・句16万、例文5万。内容は第3版にくらべて約33%増。
2. 新語や各方面の専門語なども含めて、日常広く用いられる日本語の姿を現在の時点で捉えた。
3. 現代英米の新聞・雑誌、文学作品などから採った清新な資料を活用した。
4. 厳密な選択を経て収録した日本語の意義を精細に検討し、その結果を訳語・訳文に反映させた。

5. 問題点については native speakers と徹底的に討議して訳語・訳文の正確平明を期した.
6. 従来の和英辞典には漏れているが日常普通に使用される日本語や、国語辞典には未収録であるがいずれ定着すると思われる新語なども意欲的に採録した.
7. 全見出し語に東京語の現代標準アクセントを示した.

今回の改訂に当たっては各方面の多くのかたからご援助を賜わりましたが、とりわけ市川繁治郎教授は原稿整理の段階以後、編集の中軸となって実務の進行をお援け下さったばかりでなく、長年に亘って蒐集された二十万枚の資料カードを惜しみなく提供されました。これによって本辞典の訳語・訳文は一段と清新さを加え得たものと確信いたします。国語の面で和田邦五郎教授が綿密に目を通され、語句の意義の再確認、見出し語の取捨・立て方の当否、生硬な日本文の指摘など、数多くのご注意をお与え下さいましたことは、本辞典の大きな強みとなっておりますが、和英辞典としての性質上、必ずしも国語辞典的な正確さに固執せず便宜的な扱いに止めた点も少なくありません。また英語の問題点解明に当たって、native speaker として討議の相手役をつとめて下さった Gene S. Lehman 先生と、終盤に至って同じ役に加わっていただいた Donald M. O'Rourke 先生のご尽力も、並々ならぬものがありました。

見出し語のアクセント表記については、全面的に NHK 総合放送文化研究所 放送用語研究部のご協力を得、主として山賀長治、横井正千代両氏のご厄介になりました。次に生物関係用語では埼玉大学の須甲鉄也教授、法律関係では早稲田大学の矢頭敏也教授、株式関係では野村証券株式会社の三国陽夫氏から、数多くの貴重なご助言を頂戴しました。そのほか、各方面の専門語については内外多数の参考書のお世話になりましたが、また多くのかたがたからご教示を戴いたのも忘れることができません。なお荒木忠次郎、最所フミの両氏にも何かとお世話になりました。

付録の作成には日本大学の Thomas E. Huber 助教授(通信・書式・広告文例)、早稲田大学の筧太郎教授(世界主要人名・地名の韓国・北朝鮮の部)、東京外国语大学の鐘ヶ江信光学長(漢字中国音表記法)、東京大学の上原淳道教授(東アジア史関係要語)、日本女子大学の横川信義教授(世界主要人名・地名の欧米その他及び中国の部)の諸先生を煩わし、他は社内編集部がこれに当たりました。

なお校正の最後の段階では、栗原晶江、桑原謙、牧雅夫、中尾俊夫、渡辺敏郎、山村三郎の諸先生が通読によって種々有益な示唆をお与え下さいました。

幾多の困難に遭遇しながらもこれを克服して、この新しい第4版を完成することができましたのは、偏に關係者みなさまのご援助の賜物と厚く御礼申し上げます。

和英辞典の編集は英和辞典のそれに比べて著しく遅れているといわれます。今回の改訂作業で關係者一同全力を尽くして何歩かはその遅れを取り戻し得たものと自負しております。しかしながら完全とは申せません。和英辞典のあるべき姿、理想像といったものさえ確立されていないのが現状なのであります。研究社といたしましては今後ともより秀れた和英辞典を生み出すべく、不斷の努力を続ける覚悟であります。なにとぞ使用者各位におかれましても、誤謬はもとより、遺漏の語句、誤植の見逃しなど、不備の点にお気付きの際は、何なりとご指摘下さいますようお願い申し上げます。

1973年10月

研究社辞書編集部

社内担当編集: 逸見一好、金子憲、滑川美保子
大橋進(主任)、白崎政男、山田紀代
組版: 高坂幸一(主任)
製作: 佐藤晃輔(主任)

凡例

1 見出し語

(1) ローマ字 本辞典では検索の便宜上ヘボン式を採用した。特に外來語・撥音・促音等には本辞典独特の方式を探つてある。詳細は後出の「本辞典に使用のローマ字綴り方表」を参照ありたい。

「アルミニウム」「カルシウム」などは見出し語としてのローマ字綴りをそれぞれ **aruminyūmu**, **karushūmu** などとした。また「ギリシア」は **Girisha** とした。また waitress, vodka などは見出し語としてのローマ字綴りをそれぞれ **uētoresu**, **uokka** などとし, w 音は用いなかつた。

(2) 配列 ローマ字綴りによる ABC順に配列した。従つて **cha**(チャ), **chu**(チュ), **cho**(チョ)は C の部に, **fu**(フ)は F の部に, **ja**(ジャ), **ji**(ジ), **ju**(ジュ), **je**(ジェ), **jo**(ジョ)は J の部にまとめた。

(3) 見出し語の漢字

i) 当用漢字のあるものは当用漢字を主とし, 当用漢字のないものは旧漢字を当てた。同意語は〔 〕内に入れた。

kaeru 変[代・換・替]える v. . . .

ii) 用法も頻度も大体同程度と認められる漢字は並列した。

hoka 外・他 n. . . .

(4) ローマ字綴りが同一の見出し語の配列 先ず次の i) に従つて 2 分し, 以下それぞれの部分を順次 ii) 以下の要領で区分して配列した。

i) 小文字のみの見出し語を先に, 大文字を含む見出し語を後に。

ii) ハイフン (-), アポストロフィ (') ともに含まぬもの, アポストロフィを含むもの, ハイフンを含むもの, の順に。

iii) 品詞の別によって: —n., *pron.*, v., a., *ad.*, *onomat.*, *mimesis*, *auxil.*, *particle*, *conj.*, *pref.*, *suf.*, *int.* の順とし, 最後に *phr.*(後出 品詞略語参照)を置いた。

iv) 表示語(後出(10)参照), 専門語標示(後出 各種記号一覧表(4)参照)共につかないもの, 表示語のつくもの, 専門語標示のつくもの, の順に(表示語のつくものの順序は語の使用頻度を考慮し, (L), (E), (A), (H), (O), (S), (V), (D)の順とした)。

v) 漢字(画数の少ないものから), 平仮名, 片仮名, の順に。

(5) ある語(句)が 2 通りに発音される場合 より一般的な読み方を重視し, その方へ参照した。

hanpaku 反駁 n. = **hanbakū**.

kōran 撓乱 n. (L) = **kakuran** 撓乱.

sassui 撒水 n. (L) = **sansui** 散[撒]水.

(6) 同義語(句) より一般的と考えられる方へ参照した。また古い表現は新しいものへと参照した。

jakurei 弱齡 n. = **jakunen**.

jaron 邪論 n. = **jasetsu**.

judui 入水 n. (L) = **tōshin** 投身, **mi-nage**.

kangai 寒害 n. = **reigai** 冷害.

kanka-in 感化院 n. (O) = **kyōgo-in**.

omoi-goto 思い事 n. = **negai-goto**.

shittatsu-ri 執達吏 n. (O) = **shikkō-ri**.

yami-wazurai 病み悪い n. = **byōki**.

注: または ⇔ で参照すべき見出し語を示した場合、同じローマ字綴りの見出し語が 2 つ以上ある時はその後に日本語を置き、1 つだけの時はこれを省いた。

(7) 他の語と組み合わせられて対句・熟語・成句として通常用いられるが、単独では用いられないと考えられる語 ⇔ を用いてそれらの対句・熟語・成句を、またはその中の中心的意味を持つ語を、参照させ、そこで訳を与えた。

chii 地異 n. = **tenpen(-chii)**.

jakkō 弱行 n. (L) ⇔ **hakushi-jakkō**.

jo-suru 叙する v. (L) . . . 「久潤を～ ⇔ **kyū-katsu**.

(8) 「...する」は「...じる」の方に参照するよう配列した。

eizuru 映する v. = **eijiru** 映じる.

ronzuru 論する v. = **ronjiru**.

(9) 品詞 各見出し語についている n., *pron.* などの品詞標示(後出 品詞略語参照)はその見出し語(即ち日本語)の品詞を示す。ただし名詞・形容詞が副詞的に用いられる場合は、適宜次のような表記方法を採った。

izen 以前 n. (*ad.*) 1 [今から] ago; since; . . .

utsukushiku 美しく a. (*ad.*) beautifully; prettily; . . .

(10) 表示語 各見出し語についている () 内の表示語は主として外国人の日本語研究者の便宜のために付したもので、それぞれ次の意味を有する。

(A) <Archaic 時代語
(江戸時代以前に行なわれた語)

(P) <Dialect 方言
(標準語以外の地方語、東京なりも含まれる)

(E) <Elegant 雅語
(詩的な、あるいは非常に丁寧なことば)

(H) <Historic 歴史語
(古い時代の言葉だが、現代でも歴史的な意味で通用しているもの)

(L) <Literary 文語
(現代口语から見ると文章的なもの)

(O) <Obsolete 废語
(明治時代以後の語で、現代は使用されないもの)

(S) <Slang 俗語
(俗間に通用しているが、やや標準語から離れるもの)

(V) <Vulganism 卑語
(一般人の使用に耐える程度のいやしいことば)

(11) 本辞典は和英辞典としての性質上、見出しの立て方は必ずしも国語辞典的に整理したものではなく、活用語の変化形、合成語や短い句などをも随時見出しに立ててある。従つて読者は国語辞典的な引き方によって求める語句が見出されない場合でも諦めず、かなり自由気ままな引き方をすることによって本辞典を活用されたい。

utsukushiku 美しく a. (*ad.*) beautifully; . . .

hayakere-ba 早ければ *phr.* at the earliest date [chance]; . . .

kakete-wa 掛けては phr. [...の点では]
kuu-ka-kuwareru-ka 食うか食われるか phr.
 『～の戦い....

2 本 文

(1) 見出し語(句)の語義による分類 語または句が2つ以上の異なる意味を含む場合はこれを 1, 2, 3, ... 等に分類し、更に項目ごとに [] で用法を示した。

sessuru 接する v. 1 [接触する] touch; come in [into] contact [touch] (with).

2 [隣接する] adjoin; ...; abut (against, on).
 『道路に～土地

3 [応接する] receive; ...; [店員が客に] attend to; serve. 『客に～

4 [受取る] [人が主語] receive; ...; [物が主語] come to hand. 『計(*)報に～

5 [出くわす] meet with; ...; experience. 『事件に～

(2) 見出し語の中の記述の配列 大体名詞、修飾語、動詞の順序に配列し、例文を最後に置いた。さらに

i) 連語が多数集められている場合には、原則として見出し語が後につくものを先に、前につくものを後に、大体 ABC順に配列した。

rokuon 錄音 n. 『同時～ 『街頭～ 『～盤 『～演説 『～係 『～再生 『～室 『～装置 『～テープ

ii) 見出し語に てにをは がつく場合、同一のものが幾つかある時は、見やすいように の, が, に, で, を, ...等の順序でまとめた。

kata 肩 n. 1 [人体・びん・山などの] the shoulder.

[肩の] ～の humeral; scapular. 『～の張った square-shouldered (man).

[肩が] ～が軽くなる [凝りがとれて] feel easy on one's shoulders; [責任がなくなつて] be relieved of one's burden [responsibility]. 『～がいがついている square-shouldered (woman).

[肩に] ～にする [かつぐ] shoulder; bear [carry] on one's shoulder. 『絵の具箱を～にする have a color box slung over one's shoulder.

[肩で] ～で息をする breathe hard (in lungs); pant. 『～で風を切って歩く walk with a swing of the body; strut [swagger] along.

[肩を] ～をたたく pat [clap, tap] (a person) on [upon] the shoulder. 『～を貸す give (a person) a shoulder.

(3) 形容詞と動詞 見出し語の次に、あるいは本文の中にある ～na a. は名詞の形容詞化、及び形容動詞の連体形を示し、～suru v. は名詞の動詞化を示したものである。

binbō 貧乏 n. poverty; want; ～na a. poor; hard-up; 『～な家に生まれる be born in a poor family. ～suru v. become poor; be reduced to poverty [want];

azayaka 鮮か ～na a. [鮮明な] vivid;

(4) 訳語の中のイタリックス 訳語の中でイタリック体にしたもの:

i) 外来語でまだ完全には英語化していないものを表わす。日本語で英米の辞典類に採録されているもの

も同様に外国語として扱うが、英語に入っていないものを已むを得ず用いる時は “ ” で包んだ。

クーデター (ム) a coup d'état.

鮎 an ayu (fish); an ai. / 梅 an ume.

待合 a " machiat."

ii) 特に学名・専門語等に。

ō-matsuyoigusa 大待宵草 n. 〔植〕 an evening primrose; Oenothera erythrosepala.

san'in-kuhō 三韻句法 n. 〔詩学〕 (伊) terza rima.

(5) 片仮名 外来語・和製英語・外国の地名・人名その他(慣用的に漢字を用いる東洋などの事物を除く)はすべて片仮名で示した。

ギャグ / インタビュー / キヅツ / コンセント / クリーム / クリスマス / モーツアルト / ナイター / ニューヨーク / ロンドン / シェークスピア / テキスト / ウエット等。

なお violin, vitamin, veranda などはいずれも「バイオリン」「ビタミン」「ベランダ」と B 音を採り、piano, pianist, Asia, Italy, Russia はそれぞれ「ピアノ」「ピアニスト」「アジア」「イタリア」「ロシア」とした。

aluminium, calcium などは「アルミニウム」「カルシウム」などとし、Greece は「ギリシア」とした(これらの語の見出し語としてのローマ字綴りについては 1 見出し語 (1) 参照)。

(6) 訳語の名詞の冠詞について 訳語の可算名詞には a, an をつけ、可算・不可算両方ある場合には (a), (an) のように () を用いた(後出 各種記号一覧表 (2) i) 参照)。

3 当用漢字と新仮名づかいについて

本辞典では当用漢字のあるものはこれを使用し、かつて [] 内に旧漢字を入れて、並用及び比較対照の便を計った。なお本文中の日本文は大体当用漢字及び新仮名づかいによつたが、成句・熟語及び古諺などは旧漢字によつたものも若干ある。

4 専門語について

(1) 採録の範囲 旧版採録の専門・学術語及び職域語を再検討し、更に多くの新語及び旧版にもれた語を新たに追加採録した。

追加採録の例: 〔経〕掲げ超 / 〔化〕アクロレイン / 〔植〕豚草 / 〔化〕脱硫 / 白蠟病 / 〔化〕ハニウム / 発泡スチロール / 〔動〕螢鳥賊(ムシ) / 〔株式〕場外株 / 隠し味 / 環太平洋地震帯 / 騎馬民族 / 〔物〕繰り込み理論 / キャンピングカー / 競合脱線 / 年商 / 〔天〕パルサー / 〔化〕PCB / 理学療法士 / 〔化〕ローレンシウム / 〔医〕再生不良性貧血 / 〔経〕散超 / 〔気象〕湿舌 / 水平思考 / 〔医〕点滴 / 〔株式〕店頭市場。

(2) 動・植物名 本邦産の動・植物は外国のそれと完全には一致しないものが多いので、そのような場合は最も近似の種と考えられるものの英語名、またはその種を含む属あるいは科の動[植]物を総称する英語名を挙げ、まぎらわしい場合は学名を添え、英語名が得られない場合は学名だけを示すにとどめた。

例: しらこばと 〔鳥〕 a collared dove; a [an Eastern] ringdove; Streptopelia decaocto.

ひぐま 〔動〕 a brown bear; Ursus arctos.

みずばしょう 〔植〕 a skunk cabbage; Lysichiton camtschatcense.

いそちどり〔貝〕 *Amathina tricarinata*.

5 アクセントについて

ひと口に日本語のアクセントと言っても、その行なわれる地方により、また時代によって非常なちがいがある。ことばにはそれぞれ方言があり、また常に流動し、変化しているからである。例えば雨(アメ)のアクセントは東京ではアメだが、札幌ではアメだし、京都ではアメエとなる。それらのうちで、全国どこに行っても共通に使用されることばは東京語である。この見地から本辞典では東京語の現代標準アクセントを採用した。

日本語のアクセントは、英語のような強弱ではなく、高低の関係であるが、これを表わすのに、見出し語のローマ字の肩に(↑)(↓)をつけて示してある。(↑)はそこからあと部分が前の部分より高く発音され、(↓)はそこまでの部分があとの部分より高く発音されることを示している。

日本語の単語のアクセントには、大きく分けて2つの型がある。

- I. **haʃhi** 端, **haʃna** 鼻 のように第2音節以後は、第1音節より高く発音されるが、それが助詞に平らに続くもので、平板型と言われる。
- II. もう一つは起伏型と言われ、さらに、これを3つの型に分類する。
 - i) **haʃhi** 箸, **mildori** 緑, **naʃikaku** 内閣 のように、第1音節が高く発音される頭高型。
 - ii) **haʃhi** 橋, **oʃtoko** 男, **oʃtoto** 弟 のように、第2音節、またはそれ以後の音節が高く発音され、それが「が」「を」「に」「と」のような助詞に続くとき、助詞が低くつく尾高型。
 - iii) 3音節以上のことばにみられるもので、**koʃkoʃro** 心, **kaʃrakalsa** 唐傘, **teʃkaʃgami** 手鏡, **yaʃmaʃkura** 山桜 のように、第2音節だけ高いもの、あるいは第2音節から高くなりそれが語尾まで続かず

に途中で下がるもので中高型と言う。
なお、長音の個所にアクセント契機が来る場合は、見出し語の次に〔 〕で囲ってアクセントを示してある。
kyōdo [kyolodo] 強度 / **kyōdō** [kyoʃodo] 共[協同] / **kyōdō-nōjō** [kyoʃodo-nolojoo] 共同農場
また、時代語のアクセントは、現代の標準アクセントで読む場合の型を示した。

6 見出し語のハイフン

ハイフンはその語の構成をはっきりさせるためにできるだけ細かくつけてある。すなわち

gaden-insui 我田引水 / **gaikoku-go** 外国語 / **gan-gake** 頑掛け / **genkan-barai** 玄関払いのようない合成语、また

tabe-sugiru 食べ過ぎる / **tobi-kosu** 飛び越すのようない動詞の場合がそれである。

7 スペリングとシラビケーションについて

日本の英語界の現状に鑑み米国式スペリングを重視し、これを採用した。スペリングとシラビケーションの基準は大体 Webster 大辞典第3版によっている。なお米・英で著しく綴りの違うものは《米》、《英》とことわっている。

keimu-sho 刑務所 *n.* a prison; . . . ; 〔米〕 a jail; 〔英〕 a gaol; . . .

ryōyō-jo 療養所 *n.* a sanatorium . . . ; 〔米〕 a sanitarium . . .

訳語の中で改行する際のハイフンの使用については、本来必要でないものは(-)を用い、もともと必要なものは(-)を用いた。

例: . . . per-		. . . up-to-
son; . . .		date; . . .

各種記号一覧表

(1) [] i) 訳語の区別を示す時。

凡例 2 本文 (1) 参照。

ii) 同音・同義語及び直前の語句を言い換える時及び訳語の変化を示す時。

hanjō 繁盛[昌]

『脚本家[作者、書き] a dramatist; a playwright; . . .

『敏腕家 an able [efficient] person; a man of ability [capacity, resources]; . . .

『儲け仕事なら一口乗りたい。 If there is money in it [If it is a profitable venture], I'd like to take part in it.

iii) 2つ又はそれ以上の語句をまとめて記述する時。

『合成[逆、磁化]電流 a resultant [an inverse, a magnetizing] current. (合成電流 a resultant current, 逆電流 an inverse current, 磁化電流 a magnetizing current の3つをまとめたもの。)

『株でもうける[損をする] make [lose] money on the stock market. (株でもうける make money on the stock market と、株で損をする lose money on the stock market とをまとめたもの。)

iv) 「てにをは」を明示する時。

凡例 2 本文 (2) ii) 参照。

v) 見出し語の中の長音を含むもののアクセントを示す場合(凡例 5 アクセントについて 参照)。

vi) 語義を明確にするための補足説明に。

『やれるものならやってみろ。[反語的に] Try and do it.

『空が明るくなりかけた。[曇った空が] The sky is brightening. / [夜明け] Day is dawning.

(2) () i) 省略し得る語句又は綴りを示す。

shikashi-(nagara) しかしながら

『扇動的 . . . ; demagogic(al).

『チベット人 a T(h)ibetan.

hekiga 壁画 a fresco (pl. -(e)s); . . .

sake 鮭 a salmon (pl. -(e)s); . . .

上記2例はそれぞれ frescos と frescoes, salmon と salmons という2つの複数形があることを示す。

ii) 語義を明確にするための補足説明に([]による説明を更に補って)。

ateru 当[充]てる . . .

- 5 [成功する] succeed; . . . ; make a good deal
(取り引きなどで); strike it rich (投機などで).
asakusa-gami 浅草紙 *n.* coarse toilet [lavatory]
paper (originally made in Asakusa, Tokyo).
- iii) ⇒ 記号(後出6参照)によって示された見出し語
の中のその語を見よ, の意を表わす.
fuki-itā 脱き板 *n.* ⇒ **yane** (屋根板).
shuin-sen 朱印船 *n.* (n) ⇒ **go-shuin** (御朱印船).
(3) () i) 文法上及び語法上の用例・不規則複数形などを示す.
keikō 傾向 *n.* 1 [状態・状勢の] a tendency (to, toward).
mi-tsumeru 見詰める *v.* gaze (at, on); stare (hard) (at); . . . ; look (at a person) with a fixed gaze [eye]; . . .
keshikakeru 瞠ける *v.* [犬などを] set (a dog) on [at] (a person); set on (a dog, a person); . . .
keshi-saru 消し去る *v.* remove (a name from a list); erase (a hope from one's mind); . . .
kiki 危機 *n.* a crisis (pl. crises); . . .
genshō 現象 *n.* a phenomenon (pl. -na); . . .
hitsujī 羊 *n.* a sheep (单複同形); . . .
sake 鮭 *n.* a salmon (pl. -(s)); . . .
 ただし, 語尾が o で終わる場合は規則複数形名詞にも複数形を示した.
piano ピアノ *n.* [楽器] a piano (pl. -s); . . .
kokujin 黒人 *n.* a Negro (pl. -es); . . .
mottō モットー *n.* a motto (pl. -(e)s).
ii) 米英語の区別や他の外国語の表示.
 (米) (英) (英口语) (米俗) (独) (仏) (伊) . . .
(4) () 専門用語を示す.
 (動) (植) (昆) (医) (音楽) (心理) (競技) (造船) . . .
(5) = 同義の語句を表わす場合. また, その方へ参考 (refer) させる場合.
tonaeru 称える *v.* = **shō-suru** 称する.
shiki 指揮 *n.* 『～者 = **shiki-sha**.
(6) ⇒ 「その見出しを見よ」あるいは「その見出しをも参照せよ」の意.
nigosu 潜す *v.* . . .
 2 [言葉を] 『言葉を ~ ⇒ **kotoba**.
ibushi-gin 煙し銀 *n.* 『～のような refined; quiet. ⇒ **shibui** 3.
ikketsu 一決 *n.* ~ **suru** *v.* be agreed; . . . ⇒

品詞略語

<i>n.</i>	名 詞	<i>onomat.</i>	擬 声 語
<i>pron.</i>	代 名 詞	<i>auxil.</i>	助 動 詞
<i>v.</i>	動 詞	<i>conj.</i>	接 続 詞
<i>a.</i>	形容詞及び 形容動詞	<i>pref.</i>	接 頭 語
<i>ad.</i>	副 詞	<i>suf.</i>	接 尾 語
		<i>int.</i>	感 動 詞

注: なお, 擬態語 *mimesis*, 「てにをは」の類をすべて含めた *particle* などは略さずに示した. 品詞の 1つとして取扱うには不適当と思われるものは「句 (phr.)」とした.

shūgi 衆議.

- (7) “ ” i) 読語に已むなく日本語そのものを用いた時.
待合 “ *machiai*.”
ii) 原意を示すため日本語を直訳した時.
hana-fuda 花札 *n.* . . . ; “ flower cards.”
sennin-bari 千人針 *n.* a “ thousand-stitch belt.”
(8) ~ 本文の記述の中で見出し語を表わす. ただし,
i) 見出し語が平仮名 1 字の場合(主に助詞・感動詞など)は ~ を用いずそのまま表記した.
e ~ *particle* 『板へ穴をあける 『川
へ落ちる
ya や, **yā** やあ, **yā** やっ *int.* 『やっ大変!
. 『や, 彼がやって来る! 『や, 大変な
ことをした.
ii) 見出し語に 2 つ以上の漢字が用いられている場合は, 両者の間に意味の違いが感じられる時は 2 つ(またはそれ以上)の漢字を書き分け, 意味の違いを感じられない時は ~ を用いた.
arawasu 表[現]わす *v.* 1 [示す] 『彼は突
然姿を現わした
.
3 [表現する] 『思想を言語に表わす
jitsujō 実情[状] *n.* 『～はこうだ 『～
を知る
(9) < 語原を示す.
gerende ゲレンデ [<>(独) *Gelände*] *n.* 『スキー』
a slope.
(10) / 日本文に対する訳文 (sentence) の変化 (variation) を示すために使用した. A センテンスと B センテンスとが必ずしも同意義を表わさない場合があるが, これはいわゆる直訳と意訳, 及び日本文の語感からくる解釈の相違とご承知ありたい.
 『それは専門外だ. It is not in my line. / It is out of my line. / It is off my beat.
(11) 『諺』 訳文の最後につけられた『諺』の表示は, その英語が諺である(即ち *The Oxford Dictionary of English Proverbs* に記載されている)ことを示すもので, その日本語が諺であることを示すものではない.
 『儘(金)にならぬが浮き世の習い. If wishes were horses, beggars would ride. 『諺』 / Life is full of troubles.

外 国 語 略 語

《米》	米国用語	《蘭》	オランダ語
《英》	英國用語	《葡》	ポルトガル語
《独》	ドイツ語	《西》	スペイン語
《仏》	フランス語	《梵》	梵語
《伊》	イタリア語	《羅》	ラテン語
《露》	ロシア語		

注: ギリシア語は《ギリシア》のように表わした.

本辞典に使用のローマ字綴り方表

注意： 表中斜体 (*Italics*) は他式と異なるもの、または特に注意を要するもの。 ▲訓令式 ○ヘボン式 △日本式

a	(ア)	i	(イ)	u	(ウ)	e	(エ)	o	(オ)	
ka	(カ)	ki	(キ)	ku	(ク)	ke	(ケ)	ko	(コ)	
sa	(サ)	shi	(シ)	su	(ス)	se	(セ)	so	(ソ)	▲ si ○ shi △ si
ta tsa	(タ) (ツア)	chi ti	(チ) (ティ)	tsu tu	(ツ) (トウ)	te tse	(テ) (ツエ)	to tso	(ト) (ツオ)	▲ ti, tu ○ chi, tsu △ ti, tu 本辞典の tsa, ti, tu, tse, tso は外来語にのみ使用。
na	(ナ)	ni	(ニ)	nu	(ヌ)	ne	(ネ)	no	(ノ)	
ha fa	(ハ) (ファ)	hi fi	(ヒ) (フィ)	fu	(フ)	he fe	(ヘ) (フェ)	ho fo	(ホ) (フォ)	▲ hu ○ fu △ hu 本辞典の fa, fi, fe, fo は外来語にのみ使用。
ma	(マ)	mi	(ミ)	mu	(ム)	me	(メ)	mo	(モ)	
ya	(ヤ)			yu	(ユ)			yo	(ヨ)	
ra	(ラ)	ri	(リ)	ru	(ル)	re	(レ)	ro	(ロ)	
wa	(ワ)									
ga	(ガ)	gi	(ギ)	gu	(グ)	ge	(ゲ)	go	(ゴ)	
za	(ザ)	ji	(ジ)	zu	(ズ)	ze	(ゼ)	zo	(ゾ)	▲ zi ○ ji △ zi
da	(ダ)	ji di	(ヂ) (ディ)	zu du dyu	(ヅ) (ドウ) (ヅヨ)	de	(デ)	do	(ド)	▲ zi, zu ○ ji, du △ di, du 本辞典の di, du, dyu は外来語にのみ使用。
ba	(バ)	bi	(ビ)	bu	(ブ)	be	(ベ)	bo	(ボ)	
pa	(パ)	pi	(ピ)	pu	(ブ)	pe	(ペ)	po	(ボ)	
kyा	(キヤ)			kyu	(キュ)			kyo	(キヨ)	
sha	(シャ)			shu	(シュ)	she	(シェ)	sho	(ショ)	▲ sya, shu, sho ○ sha, shu, sho △ sha, syu, syo
cha	(チャ)			chu	(チュ)	che	(チエ)	cho	(チヨ)	▲ tya, tyu, tyo ○ cha, chu, cho △ tya, tyu, tyo
nya	(ニヤ)			nyu	(ニュ)			nyo	(ニヨ)	
hya	(ヒヤ)			hyu fyu	(ヒュ) (フュ)			hyo	(ヒヨ)	本辞典の fyu は外来語にのみ使用。
mya	(ミヤ)			myu	(ミュ)			myo	(ミヨ)	
rya	(リヤ)			ryu	(リュ)			ryo	(リヨ)	
gya	(ギヤ)			gyu	(ギュ)			gyo	(ギヨ)	
ja	(ジャ)			ju	(ジュ)	je	(ジェ)	jo	(ジョ)	▲ zya, zyu, zyo ○ ja, ju, jo △ zya, zyu, zyo
bya	(ビヤ)			byu	(ビュ)			byo	(ビヨ)	
pya	(ピヤ)			pyu	(ピュ)			pyo	(ピヨ)	

本表及びその他用法で注意すべき点をあげる。

- 長音 母音の上に長音符 (ー) をつけて示した。
ā (アー), ū (ウー), ō (オー) など。

外来語には i, ē を付して正確を期した。

ti (ティー), te (ティー), di (ディー), de (デー),
fi (フィー), fe (フェー)

ただし、経験、性格、英語等はそれぞれ **keiken**, **seikaku**, **eigo** と “ei” 音を採用した。

- 撥音 すべて “n” で表わし、ヘボン式のように b, m, p の前に m をおかない。

shinbun 新聞, **shinmai** 新米, **ranpu** ランプ

なお、母音又はヤ行音の前に来た場合 (') を用いて次の音節との区別をはっきりさせた。

gen'in 原因, **kan'yaku** 簡約, **ten'yō** 転用

- 促音 子音を重ねて示した。

appaku 圧迫, **kokkai** 国会, **tosshin** 突進

ただし、チ (chi) 音に限り c を重ねず t を加えた。

mitchaku 密着, **netchū** 热中, **shutchō** 出張

なお、日本語の「あっ」「やっ」を示すため ä, ý の記号を採用した。

目 次

編集組織	vi
まえがき	vii
凡例	ix
本辞典に使用のローマ字綴り方表	xiii
NEW JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY . . .	1—2066

付 錄

世界主要人名	2067	美術	2086
欧米その他	2067	建築	2086
中國	2073	通信・書式・廣告文例	2087
韓国・北朝鮮	2074	日本官公庁・官職名一覧	2094
世界主要地名	2075	特殊法人一覧	2099
欧米その他	2075	英米政府機構一覧	2101
中國	2078	英米(日)軍人階級表	2102
韓国・北朝鮮	2078	漢字中国音表記法	2104
東アジア史関係要語	2079	各国通貨一覧	2109
世界の名作	2081	英米度量衡表	2110
著作	2081	度量衡複式換算表	2110
音楽	2085		

A

a- 亜- *pref.* sub-; near-. 『～科《生物》a subfamily.

ā あつ *int.* [驚き・意外] Oh!; O dear!; Dear me!; Good(ness) gracious!; (Good) heavens!; By Jove!; God bless me!; Why!; [痛み, 热さ] Ouch! ⇔ *atto*.

『～, 帽子を忘れた. Dear me! I've left my hat behind. 『～, 財布がなくなった. Oh! My wallet is gone! 『～, 富士山が見えるよ. Look! That's Mt. Fuji over there.

ā¹ [a'a] ああ *ad.* [問い合わせて] Oh!; [肯定] Yes; [否定] No; [詰否不明] Well; [行き詰った時] er -.

『おじさん, あなたに、～、あれは起重機だよ. What is that, Uncle? - Oh, it is a crane. 『腹がすいたか、～、さいた. Are you hungry? - Yes, I am. 『眠くないか、～、眠くない. Aren't you sleepy? - No, I am not.

ā² [a'a, a'a] ああ *ad.* [どのように] like that. [⇒ **ā-iu**] 『～は言うもの than he says so.

『～まで有名は知らなかった. I did not know he was so [that] famous. 『～と言えばこう言う. You always bandy words with me. / You are always ready to talk back. / You are always prepared to refute my criticism of you. 『～は言うものの、やはり息子がわいわいした. He does love his son for all he says. 『～なたのも自業自得さ. He may thank himself for that. 『～してこうして手段を取り立てた. I worked out my plan. 『～でもなしとうでもなし. It's neither this way nor that. 『あの男は、～でもないこうでもないですかしい. He is very hard to please. 『～でもないこうでもないで結局小田原評議. We fruitlessly discussed one scheme after another. 『若い者はとがく～したものさ. Such is the way with young people.

ā³ [a'a] ああ *int.* 1 [感動の発声] Ah!; Oh!; O!; Alas!

『～, うれしい. Oh, how glad I am! 『～, 暫い! How hot (it is)! 『～, どうしよう. Uh me. 『～, 思い出した. Ah! I remember it now. 『～, そうですか. Really? / Oh, is that so? 『～悪かったと氣付く feel a sudden qualm.

2 [呼び掛け] O; Oh; I say; [米] Say; Listen; Look here.

『～, お母さん! Oh, mother! 『～, ももしも. Hello!; Hullo(a)!; I say; Hey!

aīnchimon 亜ンチモン *n.* 『～酸 antimonious acid. 『～の antimonious; antimonous.

aībahi アバヒ *n.* 『動』 [マダガスカル産ウーリーきねざる] an avahi; a woolly lemur (avahi).

aībaliku 発壳 *v.* 1 [暴露する] disclose [divulge, let out] 〔a secret〕; bring (a secret) to light; expose (another's crime); lay bare (an evil design); unmask (a deception); dig up (scandal); (米) muckrake (one's rival); (口語) nail (a lie). 『山師の正体を～ show (a person) up for a charlatan.

2 [発掘する] open [violate] 〔a grave〕; dig [lay] 〔a grave〕 open.

aīanchūru [a'banchu'luru] アバンチュール <〔仏〕 aventure *n.* an amorous adventure; a love affair.

aīban-gērū [-ge'eru] アバンゲール <〔仏〕 avant-garde; the vanguard. 『～の guard.

aīban-gya'rudo アバンギャルド *n.* 〔仏〕 the avant-garde; the vanguard. 1 [肋骨] = **aībara-bone**.

2 [料理] [肉片付きの肋骨] a rib.

aībara-bone 肋骨 *n.* 〔解〕 the ribs. 『～一本 a rib. 『～の出た ribby (man). 『～を折る break [fracture] a rib.

『～が見えていた. The ribs stood out on his chest.

aībara-ya あばら屋 *n.* [荒廃した家] a dilapidated house; a tumble-down cottage; a ramshackle building; a (miserable) hovel; a mean dwelling; [弊屋] one's humble abode [cottage]. 『～になる fall into dilapidation [disrepair]; become dilapidated.

aībare-da'su 暴れ出す *v.* begin to act violently; go on a rampage; go berserk; get rowdy [unruly]; break out into violent behavior; get riotous (多数の人); grow restive (馬が); [檻(ケ)などを破つて] break loose.

aībare-gawa 暴れ川 *n.* a river prone to rampage; a river which easily overflows its banks.

aībarekko 暴れっ子 *n.* (s) a wild [rough] boy; an unruly [a refractory] child; a naughty boy (いたずらっ子).

aībare-ko'mu 暴れ込む *v.* burst [storm] into 〔a house〕; force an entrance [one's way] into 〔a house〕.

aībare-kuru'u 暴れ狂う *v.* rage; tear about; run amuck.

aībare-mawa'ru 暴れ回る *v.* rampage; run riot [amuck]; rave [rage, ramp] about; (rip and) tear about; run [rush] about wildly; throw [fling] oneself around; [舞台で] 〔俗〕 horse.

aībare-mono 暴れ者 *n.* a wild fellow; a rough; a rowdy; a brawler; a ruffian; a hooligan; (米) a tough; (米俗) a roughneck.

aībarenbō 暴れん坊 *n.* = **aībare-mono**.

aībareru 暴れる *v.* behave [act] violently; riot; rage (about); storm; rampage; run amuck [wild, riot]; be riotous; (口語) cut up crusty; [小児用] be unruly; be fretful; [馬など] lash out; turn [grow] restive; [犬など] be [go] wild. 『醉って～ be drunk and disorderly. 『大暴れに～ go on a wild rampage; rage [rave] in all its fury (台風などが). 『暴れもがく kick and struggle.

『学生が暴れてバスに火をつけた. Some students went on a rampage and set fire to several buses.

aībare-uma 暴れ馬 *n.* [「つしていない〕 a restive horse; [性質があらわ] a spirited horse; [逃げだした] a runaway horse.

aībari 網針 *n.* a (bamboo) netting-needle; a seine needle.

aībasu アバス *n.* (o) フランスの通信社名 the Havas News Agency (1944年解消). ⇔ **E-efu-pi**.

aībata 痘痕 *n.* 1 [皮膚の] a pockmark; a pit. 『～面(ア) a pockmarked [pitted] face. 『～のれる pitted; pockmarked.

『あのは～がある. He [His face] is pitted with smallpox [is marked by smallpox]. 『はれてしまふ～えくは. To the lover's fond eye a pockmark will appear to be a dimple. / Though love is blind, yet tis not for want of eyes. 〔諺〕

2 [鉛物の] pitting surface.
aībayo あばよ *int.* Bye-bye; So long; (英) Cheerio; (英) Cheero; (小兒語) Ta-ta.

aībazar あばざる *n.* (v) a quean; (口語) a baggage; a (saucy) jade; a (bold) hussy; a minx; (米俗) a chippy. 『～の shameless.

『あの女は～だ. She is past [lost to, beyond] all sense of shame.

aībe アベ *n.* 1 ～屈折計 [国字装置, 試験板] an Abbe refractometer [drawing apparatus, test plate].

aībekawal-mochi 安倍川餅 *n.* a rice cake dressed with bean flour.

aībekku アベック [*<仏>* avec] *n.* (s) [男女の2人連れ] a young man with his girl friend; a girl with her boyfriend; a (young) couple; [デートの2人連れ] a rendezvous couple.

[アベックの] ～の男女 a pair of young lovers; boys and girls on a date. 『～の相手 a mate.

[アベックで] ～で鎌倉へ行く go to Kamakura with one's sweetheart [girl friend, date]. 『～で遊び回る gallivant.

『若い同士が～であちらこちらを散歩していた. Young men and women were seen walking here and there in couples [pairs]. 『この公園へは～がよく来る. This park is a favorite rendezvous for young men and women. 『あの人たちは～で出かけました. They went alone together.

aībekobe あべこべ *n.* (s) [反対] the reverse; the opposite; the contrary; the wrong way; [転倒] topsy-turviness; topsy-turvy-dom.

[あべこべの] ～の contrary; reverse; inverse; opposite; wrong; topsy-turvy. 『～の方角へ行く go the wrong way; go in the opposite direction. 『～の方から from the wrong end.

[あべこべに] ～に the other way (round [about]); inversely; reversely; in the reverse order; vice versa; topsy-turvy(e); (in) the wrong way; the wrong way about; [表裏を] inside [the wrong side] out; [上下を] upside down; [左右を] the right side left; [かえつて] instead; on the contrary. 『～にする reverse; invert; put the other

way about; turn the other way; topsy-turvy; turn upside down (上下を); turn inside out (裏表を). 『箸を～に持つ hold one's chopsticks upside down.

『彼の言ふことは皆事実と～だ。What he says is all contrary to the truth. 『君の言ふことは～だよ。You have got it the wrong way round. 『順序が～だ。They are in contrary [reverse] order. 『事実は～だ。The reverse [contrary] is the case. 『ほめられるつもりが～にしかられた。He expected praise, and got scolded instead. 『彼が細君を責めると細君も～に責める。He blames his wife and vice versa. 『～にあいつをやつてやった。I turned the tables on him.

Abe-Maria アベマリア n. Ave Maria; Hail Mary.

abena-te-suto アベナテスト n. [植物生理] an Avena test.

abento [a'bento] ～ベント [＜(独) Abend] n. an evening. 『カント～ the Kant Abend.

abenjū アベニュ n. an avenue.

Äberu [a'beru] ～ペル n. [数] 1～群 [方程式, 関数] an Abelian group [equation, function].

abi 阿比 n. [鳥] red-throated loon [diver].

abidin アビディン n. [生化] avidin.

abiechin-san アビエチン n. [化] abietic acid.

abi-kyōkan 阿鼻叫喚 n. (L) Avici and Raurava, two of the eight burning hells in Buddhism.

[阿鼻叫喚の] ～の声 agonizing cries. 『～の悲 the veriest hell; a (veritable) pandemonium.

『そこで～となつた。Then hell broke out.

abiru 浴びる v. 1 [かぶる] pour [dash] (water) over [on, upon] oneself; [浸る] bathe in (cold water); take a dip in (the sea); [光などを] bask in (the sun); be bathed in [suffused with] (the moonlight); be flooded with (light); be covered with (sparks, dust). 『血を浴びて bathed with blood. 『川で水を～ have a dip [bathe] in the river. 『(船が) 大波を～ ship water; be flooded by waves. 『砲火を～ be under fire; be exposed to fire. 『～ように飲む swell oneself with (wine); drink like a fish; quaff; booze.

2 [非難などを] suffer (an attack); expose oneself to (criticism); have (abuses) heaped upon one; be subjected [exposed] to (public censure). 『(弁士) かがさない不賛成の叫びを浴びて降壇する leave the platform amidst applause [shouts of dissent]. 『降るような光栄を一身に浴びて with honors thick upon one.

abise-kake'ru 浴びせかける v. [=abiseru] 『おめでとうを浴びせかけられる be showered [hailed] with congratulations.

abiseru 浴びせる v. [かぶせる] pour [throw] (water) upon [lover]; douse (a person) with water; dash (water) over; play (a stream of water) on; [被らる] heap [shower, rain] (abuses) upon; asperse (a person) with bitter reproaches; lay [fix] [blame] on; [砲火を] subject (the enemy) to (fire). 『(野球) 猛打を～ shower hits (on the opposing team). 『一太刀～ strike (a person) a blow with a sword; deal (a person) a sword-stroke (on the head, shoulder); bring a sword down upon (a person's head). 『質問を～ bombard (a person) with questions. 『質問を浴びせられる be deluged with questions.

Abishinia アビシニア n. Abyssinia; Ethiopia. 『～人 an Abyssinian; an Ethiopian.

Abogadoro アボガドロ n. [化物] ～数 Avogadro number.

abokado アボカド n. [熱帯果樹] an avocado (pl. -e(s)); [同上の実] an avocado (pear); an alligator pear.

abu 虹 n. [見] a horsefly; a gadfly; a breeze; a deerfly (しか馬などにかかる). 『～はち取らざになる fall between two stools; result in getting nowhere.

『～は取らず。If you run after two hares, you will catch neither. 〔該〕 / Between two stools one goes [falls] to the ground. 〔該〕

abukū 泡 n. (s) =awa.

abuku-ze'in 泡銭 n. (s) unearned [easily gained] money; (米俗) easy money; (米俗) a quick buck.

abumi 鐘 n. stirrups; a footstall (婦人用乗馬ぐらの). 『～革 stirrup straps; stirrup leather. 『～網 (海) a stirrup. 『～ずれ a stirrup-sore. 『～に片足をかけて with one foot in the stirrup.

【鍔を】 ～を踏む rest [have] one's feet on the stirrups. 『～を踏んばって立つ rise in one's stirrups. 『～をはず take one's feet out of the stirrups. 『～を踏みはずす miss one's stirrup(s).

abumi-bone 鐘骨 n. [解] the stirrup bone; the stapes. 『～の stapedial.

abuna-e 危な絵 n. a suggestive [risqué] picture. ⇒ shunga.

abunaga'ru 危ながる v. [おそれ] be afraid (of); be apprehensive (of); feel uneasy (about); feel shy (of); shrink (from); hesitate (to do); [疑わしく思う] doubt; have one's doubts (about). 『人の～ことをする attempt things people shrink from. 『危ながって近づかない be afraid to come near.

abuna-ge 危な気 n. a possibility of danger; dangerousness; riskiness. ～na a. [危険な] dangerous; perilous; risky; [信用できない] untrustworthy; unreliable; [疑わしい] doubtful; uncertain; [しっかりしない] unsteady (gait); shaky (grammar); limping (halting) [English]. 『～のない [安全な] safe; sure; secure; [信用できる] re-

liable; trustworthy; [しっかりした] steady; sound; firm; sure-footed (man).

abunai 危ない a. 1 [危険な] dangerous; risky; precarious; perilous; hazardous; unsafe; insecure; [口語] chancy; breakneck (speed). 『～事をする run [take on] a risk; make a risky attempt; take a chance. 『～橋を渡る skate on thin ice; tread on dangerous ground; sail close to the wind; [米口語] go [climb] out on a limb. 『～世渡りをかる lead a precarious life; live by one's wits (やりくりして). 『～事をやらない take no risks [chances]; play safe [for safety]. 『～目に會う be exposed to danger; be threatened with danger; fall into danger; have a dangerous experience; [米口語] be left out on a limb. 『～ところを助けられる be rescued from danger; be snatched from the jaws of death.

『この土台は～。The foundation is not stable [secure]. 『～ばへ寄るな, ～から。Don't come near. You may get hurt. 『戸を開け放しておいでは～。It is not safe to leave the door open. 『あの銀行は～。The bank is unsafe [is likely to fail]. 『この犬は～。This dog is vicious. 『あの犬はさわると～。That dog is not safe to touch. 『～からよせ。Stop! It's dangerous. 『橋がわかれて～。The bridge is dangerously out of repair. 『それは少しも～ことはない。There is no risk in it. 『じつに～思いがた。I had a risky experience. / I felt very uneasy. / I felt as if treading upon eggs.

2 [命・容態など] critical; grave; serious; [be] in danger [peril, jeopardy]; [be] at stake.

『大病で今日明日も～。He is very ill and his life hangs by a thread. 『あの病人は～。The patient is in a critical condition. / The patient's case [condition] is critical [alarming]. 『彼の生命が～。His life is in danger. / His life is threatened.

3 [疑わしい] doubtful; questionable; [心もとない] uncertain; chancy; [当てにならない] unreliable; undependable; untrustworthy.

『～空模様だ。The weather looks threatening. 『成功は～ものだ。His success is doubtful [uncertain]. 『～いの言ふことは～ものだ。He is not to be relied upon. 『あの男に金を持たせては～。Money is unsafe in his hands. / You cannot trust him with money. 『この子はまだひとりて世の中へ出るのは～。He is too young to find his own way in the world. 『及第するかどうか～ものだ。I doubt if he will pass the exam. 『君の約束は～ものだ。I cannot rely [depend] upon your promises. 『彼の正直も～ものさ。His honesty is questionable. / I doubt [question] his honesty. 『旅費は5千円では～。Five thousand yen would hardly cover the traveling expenses.

4 [しっかりしない] unsteady [tottering] (gait); shaky (grammar); limping (English). ⇒ ayashii 4.

『私の文法は～ものだ。I am shaky in my grammar.

5 [間一髪] narrow; close. 『～目に会う have a close call. 『～ところで勝つ win by a narrow [close] margin; [俗] win by a squeak. 『～ところを助かる have a narrow [hairbreadth] escape; escape by a hair's breadth; have a narrow squeak. 『～綱渡り a touch-and-go business [affair].

『～ところだった。It was close. / It was a close shot [call, shave]. / It was a near [lose] thing. 『汽車が今出るという～ところだった。I was just in time for the train. 『その火事この家も既に～ところだった。This house came near being burnt in the fire.

6 [警告] Look out!; Watch out!; Take care!; Be careful!

『～っ! という間にもうかかれてしまった。Warning [A shout of warning] was scarcely given when he was run over. 『屋根にのるな、落ちると～から。Don't climb on to the roof. You might have a fall. 『車がくるから～よ。Mind the car.

7 [負けそ] be likely to be defeated [beaten].

『野球試合で早稲田は5回まで危なかった。The chances were against Waseda until the fifth inning.

abunakkashi'i 危なつかしい a. (s) =abunai.

abunaku 危なく a.(ad.) (very) nearly; barely; [be] on the point of (doing); [be] in imminent danger of (doing something); come near (doing); miss (doing). 『～なる become dangerous; run [fall] into danger; be exposed to danger; be in danger [peril]. 『～する endanger. 『国家を～する compromise the safety of the country.

『～自動車にのれるところだった。I was nearly [near being] run over by a motorcar. 『～汽車に乗りおくれるところだった。I almost missed the train. 『～溺死するところだった。I came near being drowned. 『～子は～から落ちるところだった。The boy was within an ace [a hairbreadth] of falling off the precipice. 『～頭を撃たれるところだった。I just missed being shot in the head. / The bullet missed my head by a hairbreadth. 『～外出するところでした。I was on the point of going out, when you came. 『～難をのがた。He had a close shot [call, shave].

abuna-sa 危なさ n. dangerousness; perilousness; riskiness; danger; risk; peril.

abuna-sō 危なそう a. =abuna-ge.

abunomaru [a'buno'lomaru] アブノーマル ~na a. abnormal; not natural.

abura 油 n. oil. 『(海面などに)浮いた～ an oil slick [on the surface of the sea]. 『～バナー an oil burner. 『～びん an oil bottle. 『～分離器 an oil separator [extractor]. 『～樽 an oil cask [barrel].

rel]. 『～ガス oil gas. 『～井戸 an oil well [spring]. 『(機械の動部へ油を送る)～入れ an oil cup. 『～こし an oil strainer [filter]. 『～締木 an oil press. 『～砥石 an oilstone; an oil whetstone. 『～除け an oil guard.

[油の] ～の罐 an oilcan. 『～の切れた[ない] oilless. 『～のしみ an oil stain. 『～のような oily.

[油が] ～が切れる need oiling; run short of oil. 『～が付く become oily [oil-stained]. 『～が切れている be in need of oiling.

[油で] ～で揚げる fry in oil. 『～でいためる prepare (something) with oil. 『ちょっと～でいためる lightly treat with oil.

[油を] ～をく(入) put [pour] oil into (a lamp); fill (a can) with oil; feed (a lamp) (with oil). 『火に～をそそぐ [比喻的] heap [throw] fuel on the fire; add [put] oil to the fire [flame]; pour oil on the flame; add fuel to (the disturbance); fuel a riot). 『～を差す引く, 塗る oil (a watch); grease; lubricate. 『(カトリックで)額に～をつける anoint (a person). 『時計に～を差してもらう have one's watch oiled. 『～を取る extract oil (from). 『～を絞る press oil (from); extract oil by pressing; [比喻的に] give (a person) a sound rating [a severe talking-to]; give it to (a person); call [take] (a person) to task; reprimand; dress down; grill; keelhaul. 『うんと～を被る (口语) catch it hot. 『～を売る [比喻的に] loaf; dawdle; linger [dilly-dally] (over one's work); loaf [idle] away one's time; mess about; [俗] goof off. 『途中で～を売る loiter on the way. 『～をかける (教唆する) egg (a person) on (to do something); set (a person to do something); instigate; incite. 『～を流したような海面 a glassy sea; a sea of oily smoothness.

【この時計は～が切れた。The oil in this watch has dried up.

abur**a** 脂^ス膏^ス n. fat; grease; tallow (ろう状の); lard (豚の); suet (牛・羊の); speck (あざらしなどの); blubber (鯨の). 『～取り [顔などの] absorbent paper.

[脂の] ～の多い greasy; fatty. 『～のしみ a grease spot [stain]. 『～の乗った魚 oily fish.

[脂が] ～がつく become greasy; be stained with grease. 『[魚など] ～が乗る be in good table quality; put on fat; be in (prime of) grease (歟). 『仕事に～が乗る warm (up) to one's work; get warmed into one's work; get into the swing of one's work; get into one's work; tune up.

[脂を] ～を塗る grease (a machine). 『～を通さない greaseproof (paper). 『髪に～をつける pomade [brillantine] (one's hair).

『その問題にいると～が乗ってきた。He warmed up as he got into that subject. 『仕事に～が乗ってきた。The work is getting into its swing. 『今がちょうど～の乗った年ごろだ。He is now in the prime of a**bur**a-age 油揚げ n. =**aburage**. 〔life.

abur**a-a'se** 脂汗^ス n. greasy sweat. 『～をかく [かいている] break out [bel] in a greasy sweat.

『苦しくて全身に～が出た。The pain was so excruciating that a greasy clamminess spread over my whole body.

abur**a-ashi** 脂足^ス n. greasy feet. 『～である have greasy feet.

『～で困る be troubled with greasy feet.

abur**a-butori** 脂太り^ス n. 『～の obese; fat(ty).

abur**a-dame** 油溜^ス n. [機] a sumpt.

abur**a-da'rake** 油だらけ n. (s) 『～の oily; oil-stained; greasy; grease-stained. 『～になっている be stained [smearied] all over with grease [oil].

abur**a-de** 油手^ス n. a greasy hand; an oily hand.

abur**a-deri** 油照^ス n. a sultry sun.

abur**a-e** 油絵^ス n. [画法] oil painting; [絵] an oil painting; a painting [picture] in oils. 『～画家 an oil painter. 『～用油 megilip; magilip. 『～の肖像 a portrait (painted) in oils; an oil portrait. 『～を描く paint in oils.

abur**a-e'nogu** 油絵具^ス n. oil paints; oil colors; oils.

abur**a-gami** 油紙^ス n. oiled paper; oilpaper.

abur**a-age** 油揚げ^ス n. fried bean curd. 『～一枚 a piece of fried bean curd. 『とんみに～をさわられたように with a stupid look of surprise; with a vacant look of astonishment. 『[比喻的に] とんみに～をさわられた have one's share filched [taken] by another.

abur**a-giri** 油桐^ス n. [植] a tung (oil) tree; *Aleurites cordata*.

abur**a-gi'tta** 脂ぎった phr. greasy; oily. 『～四十男 an oily-faced fleshy man in his forties.

abur**a-gu'suri** 油薬^ス n. 1 [塗布剂] an ointment; a salve; a liniment. 『～をつける apply an ointment.

2 [暗略] a bribe; [俗] palm oil [grease].

abur**a-iri** 油入り^ス n. 『～の oiled. 『～開閉器 an oil switch.

abur**a-i'tame** 油いため^ス n. frying.

abur**a-jimi'ru** 油(脂)染める v. become oily [greasy]; be oil-[grease]-stained [spotted]. 『油(脂)染みた oily; greasy; stained with oil [grease].

aburakadabura**** アラカダラ^ス n. [呪文] abracadabra.

abur**a-ka'su** 油糟^ス n. oil cake; seedcake; [なたね] rape cake. 〔家畜飼料または肥料の] powder ~ oil meal.

abur**a-ke** 油(脂)気^ス n. oiliness; greasiness.

[油氣の] ～のある oily; greasy. 『～のない髪 unoiled hair; hair innocent of oil. 『～の少ない肌 a dryish skin.

abur**a-kkami** 油つ紙^ス n. (s) [=a**bur**-gami] 『～に火のついたようぐがらしゃる rattle; tattle; prattle; talk glibly.

abur**a(k)ko'i** 脂(つ)濃い a. greasy; fatty; oily; unctuous. 『～食物 greasy food; rich food.

abur**a-mi** 脂身^ス n. the fat (of meat); fat meat.

abur**a-momo** 油桃^ス n. [植] a nectarine.

abur**a-mushi** 油虫^ス n. 1 [昆] [ごきぶり] a cockroach; a black beetle.

2 [寄食者] a hanger-on; a parasite.

abur**a-mushi** 蝣虫^ス n. [昆] [ありまき] a plant louse (pl. ~ lice); an aphid; an aphis (pl. aphides); an ant cow.

abur**a-na** 油菜^ス n. [植] a rape; a cole; *Brassica campestris*.

『～科 Cruciferac.

abur**a-sashi** 油差し^ス n. an oiler; an oil cup; an oilcan; (英) an oilfeeder; a lubricator.

abur**a-shibori** 油擠り^ス n. [器械] an oil press; [人] an oil presser.

abur**a-shō** 脂性^ス a. 『～である be fatty.

abur**a-ta'nku** 油タク^ス n. an oil tank.

abur**a-tsubo** 油壺^ス n. an oil bottle; an oilcan; an oil cup; an oiler.

abur**a-tte** 油手^ス n. =**abura-de**.

abur**a-ya** 油屋^ス n. [人] an oilman; [店] an oil shop. 〔oil.

abur**a-yake** 油焼^ス n. oxidized oil stain. 『～した burned by

abur**a-ya'shi** 油椰子^ス n. [植] an oil palm; *Elaeis guineensis*.

abur**a-zemi** 油蟻^ス n. [昆] [ごきぶり] a large brown cicada; *Graptopsaltaria nigrofuscata*.

abur**e** あぶれ n. (s) [事] failure to get work; [人] a jobless laborer; an unemployed person. ⇨ **abureru**.

abur**e-mono** あぶれ者 n. (s) a rascal; a rough; a rowdy; a ruffian; an outlaw.

abur**e-ru** あぶれる v. (s) [仕事:] fail to get a job [find work]; miss one's job; [タクシーが] have no fare; [釣師が] be unlucky in fishing; have no catch; [漁師が] have no game. 『[職業安定所]のあぶれ日雇い人 a surplus day laborer. 『仕事にあぶれている be out of work [at] job.

abur**i-dashi** 烤り出し^ス n. a thermotype. 『～インキ (pictures in) invisible [sympathetic] ink.

abur**i-ko** 烤り子; 烤器^ス n. a grill; a gridiron.

abur**i-ru** 烤[火]る v. 1 [火] roast; broil (肉や魚などを); grill (烤り器で). 『餅をとろ火で～ toast rice cakes over a slow fire.

2 [温める] warm; [乾かす] dry. 『火ばちで手を～ warm one's hands over a *hibachi*. 『足を火に～ toast one's toes.

abus**on** バブサン n. *absinth(e)*. 『～中毒 absinthism.

abus**utora kuto** アブストラクト n. [美] [作品] an abstract; an abstraction. 『～アート abstract [nonrepresentational] art. 『書道 abstract calligraphy.

achar**aka** あちらか^ス n. farcical merrymaking.

『この本は、いわば漱石の「わが輩は猫である」の～版だ。This book is, as it were, a jazzier edition of Soseki's *I Am a Cat*.

achar**a-zuke** あちらか漬^ス n. mixed vegetables pickled with vinegar, sake and soy.

acher**eri** [a**cher**eri] アーチェリー n. archery. =**yōkyū** 洋弓.

achi** [a**chi**]** アーチ n. an arch; a green arch (緑門). 『馬蹄形～ a horseshoe arch. 『逆～ [建] an inverted arch; an invert. 『半円形～ a Roman arch. 『下心～ a diminished arch. 『～ダメ an arch(ed) dam. 『～形の [植] formicate(d).

achibumento-te'suto**** アチーブメントテスト n. (give, take) an achievement test.

achidōjisu**** [a**chidōjisu**] アチドージス n. [病理] acidosis.

achi**-kochi** 彼方此方 pron. here and there; in places; in several [various] places; [羅] *passim* (引用句など); sporadically (散在して). 『～に hither and thither; to and fro; back and forth; up and down. 『～の学校 this and that school; several [various] schools. 『～社交的に立ち回る get about. 『～旅をして回る travel from place to place. 『部屋の中を～歩きまる pace up and down a room. 『～を見る look this way and that. 『～から集まる flock from far and near; come from all quarters. 『ラウンジには～にソファーが置いてあった。The lounge was scattered with sofas.

achi**ra** あちら pron., n. 1 [あれ] that; [他方] the other. 『～側 (on) the other side. 『～の方 [先方] the other party.

『～とこちらとどちらがお好きです。Which do you like better, this or that? 『～立てねばこちらが立たず, 困ったものだ。I am in a dilemma [fix], unable to satisfy both sides.

2 [向こうの方] there; yonder. 『～にいる男子 the boy there.

『～に見える山 the mountain you see over there. 『～から来る警官 a policeman coming from that direction.

『～からこちらからも苦情が来る。Complaints are coming from all quarters. 『～に行け! Go away! / Be off!

3 n. [外国] a foreign country. 『～帰り a person returned from the West.

4 [人の] he (男); she (女).

achi**ra-ko'chiira** あちらこちら pron. =**achi-kochi**.

ada**** 仇 n. 1 [敵] a foe; an enemy; [復讐] revenge; vengeance;

retaliation; [恨] enmity; grudge; resentment; feud.

[仇を] ～を返す revenge oneself on (a person); be revenged on (a person); take vengeance [avenge oneself] (upon); get one's own back; catch up with (a person). 『父親の～を打つ avenge one's father's murder; take revenge for one's father's death; revenge one's dead father.

2 [害悪] (an) injury; harm; wrong; evil. 『～に報いるに恩をもってする return good for evil; heap coals of fire on (a person's) head.

『恩を～で返される warm [cherish] a snake [viper] in one's bosom.

[仇を] ～をする do (a person) harm [wrong, disservice]; perform a disservice (to); do (a person) an ill turn. 『～をもって～に報いる revenge wrong with wrong.

『親切のもりがついに～となつた。 My kind intentions turned out harmful after all.

3 [破滅] ruin. 『(...が)身の～となる cause one's ruin; become the cause of one's ruin; prove one's ruin.

『彼女の愛が身の～となつた。 Her love was [spelled] his ruin.

4 [来襲] invasion. 『われに～なす国 a nation hostile to our country.

a'da 徒 *n.* (E) emptiness; vanity. ～na *a.* empty; vain; fruitless; unavailing; useless; [ほかに] ephemeral; [実意のない] faithless; fickle; frivolous. 『～に vainly; fruitlessly; in vain.

a'da 阿娜 ～na *a.* (S) charming; coquettish. 『～めく be [become] coquettish [charming].

a'da-bana 徒花 *n.* an abortive flower; an idle flowering.

a'da-go'koro 徒心 *n.* (E) a fickle [faithless] heart.

a'da-jio アジオ *n.* [音楽] (伊) adagio.

a'dakamo 恒も *ad.* =atakamo.

a'da-ka'taki 仇敵 *n.* (A) =kataki.

a'da'kkusu アダックス *n.* 『動』 [北アフリカ・アラビア・シリア産のかもしか] an addax (pl. -es).

a'da-kuto アダクト *n.* 『化』 an adduct.

A'damu アダム *n.* 『聖』 Adam.

a'damusa'ito アダムサイト *n.* [くしゃみ性毒ガス] adamsite.

a'dana 緋名 *n.* a nickname; a so(u)briquet; a byname.

[紳名を] ～を付ける give (a person) a nickname; fasten a nickname upon (a person); nickname (a person); dub. 『(人を)～で呼ぶ call (a person) by his nickname. 『「赤シャツ」と～を取る be dubbed [nicknamed] "Red Shirt"; earn oneself [come by] the nickname of Red Shirt; obtain the nickname [sobriquet] of "Red Shirt."

『「鬼」という～がついたのはそのためだ。 To this he owes his nickname of "Ogre." / This earned him the nickname of "Ogre."

a'da-nami 徒波 *n.* (E) noisy wave.

『浅き瀬にこそ～は立て。 Shallow waters give rise to noisy waves.

a'da-na'sake 徒情 *n.* (E) 一時だけの親切 a fanciful kindness; [気まぐれの恋] fickle (fleeting) love.

a'da-orosoka-ni 徒鍊かに *ad.* 『～思う make light of (anything); fail to appreciate (a person's kindness).

a'dapisu アピス *n.* [古生物] [原藻類] Adapis (属名).

a'dappo'i 阿娜(い) *a.* (S) coquettish; kittenish; fascinating; captivating; bewitching; voluptuous; amorous (eyes). 『～女 a charmer.

a'da'puta アダプタ *n.* an adapter; an adaptor.

a'darin アダリン *n.* [薬] adalin.

a'dashi 他し *a.* [他の] another; other. 『～人 another person; a stranger. 『～男女 another man [woman]. 『～事はさておき but to return (to the subject).

a'dashi 徒し *a.* [はない] fickle; [むだな] vain. 『～心 a fickle heart. 『～男女 a paramour. 『～世 the transient world.

a'dauchi 仇討ち *n.* (A) [=kataki-uchi] 『～物 revenge plays.

『～物語 the story of a vendetta.

a'da-za'kura 徒桜 *n.* (E) ephemeral cherry flowers.

A'den アデン *n.* Aden. 『～人 an Adeni. 『～の Adeni.

a'de'ndamu アデンダム *n.* [機] an addendum (pl. -da).

a'denin アデン *n.* (化) adenine. 『virus.

adenobīrusu [a'denobī'rūsu] アデノビールス *n.* 『医』 an aden-

a'de'no'ido アデノイド *n.* [医] adenoids. 『～切除(術) adenoidectomy. 『～症の adenoidal (child).

a'de'no'shin アデノシン *n.* [生化] adenosine. 『～三磷酸 adenosine triphosphate (略: ATP); adenosinetriphosphoric acid; adenylylpyrophosphate.

a'de-su'gata 鮎姿 *n.* a charming figure (of a geisha).

a'de'yaka 鮎か ～na *a.* charming; fascinating; fair. 『～に charmingly; fascinatingly. 『～さ charmingness; fairness.

a'do あと *n.* [能狂言] an actor supporting the protagonist. 『主(の)

～ the deuteragonist.

a'do アド *n.* 1 [広告] an ad; (an) advertisement.

2 [宛名] an address.

a'doba'isu アドバイス *n.* (a piece of) advice.

a'doba'izā アドバイザー *n.* an adviser; an advisor.

adobantēji [a'dobante'ejī] アドバンテージ *n.* 『テニス』 『～サーバー[レシーバー] an advantage server [receiver].

a'do-barūn [a'baru'lun] アドバルーン *n.* an advertising balloon.

a'dokena'i あどけない *a.* innocent; simple(minded); artless; naive; unsophisticated; ingenuous. [=mujaki] 『～顔 [様子] an innocent face [air]. 『～微笑 an angelic smile. 『～ことを言う talk like a child; say childish things. 『～でなく innocently; naively; childishly. 『～でなく笑う laugh an innocent laugh. 『～の娘はどこなく

～ That girl has something innocent about her.

a'do-man アドマン *n.* an admian; a man who solicits advertisements.

a'do-ra'itā アドライター *n.* an ad writer; an admian. 『ments.

a'dorena'rin アドレナリン *n.* [生化] adrenaline.

a'doresu アдрес *n.* 1 [住所] (a person's) address. 『営業所の～ one's business address. 『自宅の～ one's home address.

2 [ゴルフ] address. ～suru *v.* address (the ball).

3 [電子計算機の] an address. 『相対～ a relative address. 『相対～コードィング relative coding.

A'dorial-kai アドリア海 *n.* the Adriatic Sea.

a'do-ribu アドリブ *n.* an ad lib. 『～で言う ad-lib; improvise.

a'dyū [a'dyū] アディュー *n., int.* 『仏』 an adieu (pl. -s, -x); goodbye.

a'e'egi 嘘ぎ *v.* panting; a pant; gasp (for breath); puff (and blow); breathe hard (with heavily). 『喘ぎながら, 嘘ぎ喘ぎ gasping(ly); panting(ly); between gasps; out of breath. 『喘ぎながら言う gasp [puff, pant] out.

a'eleka あえか ～na *a.* (E) willowy; helpless and pretty.

a'el'mono 和物 *n.* dishes dressed with (various kinds of) sauce.

a'en 脊鉛 *n.* zinc. 『～板 a zinc plate [sheet]. 『～鉛塊 a spelter. 『～白 zinc white; Chinese white. 『～鉛 zinc ore.

『～末 zinc dust; granulated zinc. 『～酸塩 zincate. 『～鉄 galvanized iron. 『～の zincie; zincous; zincoid. 『～から得た zincie; zincous. 『～に似た zincoid.

【転】 ～を含む zinciferous; zincous; zincic; zinc(c)ky. 『～を抱和させる zincify. 『～を殺せる, ～で包む zinc; zincify; coat with zinc; sherdarize. 『～を生じる zinciferous.

a'en'a'i 敢ない *a.* [悲しい] sad; tragic; pitiful; [もろい] frail; feeble; [ほかに] transient. 『～最期を遂げる die a pitiful [tragic] death; come to a sad end; meet with a tragic end. 『～away.

a'en'aku 敢なく *a.* (ad.) sadly; tragically. 『～なる die; pass away.

a'en'ban 脊鉛版 *n.* [術] zincography; [版・写り物] a zincograph; a zincotype. 『～する zincograph; etch on zinc.

a'en'biki 脊鉛引き *n.* zinc galvanizing. 『～の galvanized; zincified; zinc(ed); coated with zinc. 『～の鉄板(タン) galvanized sheet iron.

a'en'ka 脊鉛華 *n.* zinc flowers; flowers of zinc; zinc oxide. 『～綴合膏 zinc adhesive plaster. 『～微粉 zinc dusting powder. 『～軟膏 zinc (oxide) ointment.

a'en-mekki 脊鉛めっき *n.* galvanization; zincification; sherardization. 『～鉄線 galvanized iron wire.

a'en-to'ppan 脊鉛凸版 *n.* [術] anastatic printing; photozincography; zinc etching (主として線画の); [原版] an anastatic plate; [写り物] an anastatic print; a photozincograph. 『～する photozincograph. 『～other condiment).

a'en'ru 和える *v.* dress (vegetables) with (vinegar, miso, or some other condiment).

a'ete 取て *ad.* (L) daringly; boldly; positively. 『～する dare venture, presume; [to do]; make bold (to do); take upon oneself (to do); lend oneself to (a deed). 『～と言ふ venture to say.... 『～危険を冒す brave danger. 『...というも～過言ではない we may safely say that....

【訴訟】 も～辞さない I am even ready to go to law with him. 『～行くには及ばない You need not take the trouble to go. 『～驚くに足りない There is nothing (particularly) strange about it. I shouldn't be surprised at it. 『～行きたくもない I haven't a great mind to go. 『～反対するというわけではない Not that I am against it.

a'fori'zumu アフォリズム *n.* an aphorism.

a'fugan アフガン *n.* 『～編みの掛けふとん an afghan. 『～犬 an Afghan (hound).

A'fugani'sutan アフガニスタン *n.* (the Kingdom of) Afghanistan.

『～の(Afghan). 『～語 Afghan. 『～人 an Afghan.

a'fure 溢れ *n.* overflow. 『～管 an overflow pipe.

a'fureku アフロコ *n.* [映・テレビ] postrecording; postscored; dubbing in.

a'fure'ru 溢れる *v.* overflow (the bank); run [flow] over (the brim); cover (with); flood [inundate] (the land); [溢れるほど多い] team [swarm] (with). 『川から溢れた水 flood water from a river. 『溢れそうに一杯になっている be full to the brim; be brimful. 『～ばかりの abundance of (the heart); exuberance of (delight); a deluge (of tears); effusive; ebullient; exuberant. 『～ばかりの喜び an overflowing joy. 『～ばかりに effusively; ebulliently. 『～ばかりに満たした器 a vessel filled to repletion. 『愛嬌～ばかりである be overflowing with smiles. 『元気～ばかりである be full of vigor; be in high spirits; be overbrimming with spirits [health]. 『堂に～聴衆 an overflowing audience.

『豪雨で川が溢れた。 The heavy rain caused the river to overflow

[go out of its banks]. 『水槽が溢れている。The cistern is running over.』 日本の人口は溢れようとしている。Japan has an overflowing population. 『聴衆は堂に溢れた。The hall was filled to overflowing.』 注文は～ばかりです。We are flooded [deluged] with orders. 『市場には物資が溢れている。The market is glutted with commodities.』 胸は感謝の念で溢れた。I was overwhelmed with gratitude. 『目に涙が溢れていた。Her eyes were filled [brimming, swimming] with tears.』 **afure-yobi** 溢れ呼び n. 『電』 an overflow call. 『～度数計 an overflow meter.

Afurika アフリカ n. Africa. 『～人 an African.』 『～(人)の African.』 『～諸国間の intra-African 『relations』.』 『～生まれの白人 an Afrikaner.

Afurikantoro pusu アフリカントロpus n. 『人類』 *Africanthropus*.

a'futa アフタ n. 『吹き出物』 an aphtha [pl. -thae].

a'futā-bānā [-balanaa] アフターバーナー n. an afterburner; a tail-pipe burner (特にジェット機).

a'futā-ke'la アフターケア n. 『医』 aftercare. 『～施設 an aftercare institution [colony].

afutanūn [afutunu'un] アフタヌーン n. an afternoon dress.

a'futā-sābisu [-salabisu] アフターサービス n. after-sale service; (repair) service; servicing (on the goods sold to customers). 『(機械などの)～係り』 service repairman [engineer]. 『～をする service (a motorcar); provide maintenance [for].』

『小さい店のほうが～が多い。Small shopkeepers offer better after-sale service.』 『この機械に対しては会社で～をいたします。We will provide after-sale service on this machine.』

a'gaki 足掻き n. struggling; [馬などの] pawing. 『最後の～ a last ditch fight.

【足掻きが】 ～がれない stick in the mud; be stranded; be in a fix. 『資金不足で～がれない find oneself stuck for want of funds.』 『～がれないでいる be struggling helplessly.』 『借金で～がつない be up to one's ears in debt; be over head and ears in debt; be bound hand and foot by debts.

a'ga'ku 足掻く v. [馬など] paw the ground; paw the air; [もぐく] struggle; wriggle; flounder. 『足掻かりを得ようとして～ scrabble for a foothold.』 『(困難から)足掻き出る wriggle out of a difficulty).』

a'game'ru 崇める v. 『尊敬する』 respect; revere; reverence; look up to; honor; do {a person} honor; hold {a person} in reverence [in high esteem]; [崇拝する] adore; worship; hallow. 『神と～

a'gana'i 賢い n. =*tsugunai*. 『～[英] wise; [神] deity.

a'gana'u 賢う v. 1 [償う] atone [for]; expiate. 『死をもって罪を～ expiate a crime with death.』 『[金を出して] 人の命を～ redeem another's life [with money]; ransom {a person}.』

2 [買う] =*kau* 買う.

agape アガペ n. 1 [神の愛] agape.

2 [愛餐] =*aisan*.

a'gari 上がり n. 1 [登り] an ascent; a rise; [騰貴] a rise; an advance. 『(物価などを)～気味で on the high side.』

2 [収益] =*agaridaka*.

3 [魚などの] death.

4 [(蚕の)上蔟(せき)] spinning.

『蚕の～がいいわい!』 The silkworms are spinning well [badly].

『秋蚕の～はどうだ。How are the autumn silkworms spinning?』

5 [仕上げ] completion; finish; finishing; [競技者の上り] finish.

1 ～になる come to the finish; finish. ⇒ *agaru* 上がる[揚]がる17.

『色の～がいい。The color has come out well.』 『～! [料理人の言葉] The dish is ready.

6 [やむこと] a stop.

-a'garu -上がり sur. 『雨～の道 a road after rain [just after a rain].』 『芸者～の細君 a wife who is an ex-geisha.』 『役人～の実業家 a businessman who was once a government official.』

a'gariba 上がり場 n. a landing (place).

a'garibana 上がり花 n. (§) fresh-drawn tea; freshly brewed tea.

a'garidaka 上がり高 n. [収益] [法] issue; a revenue; an income;

proceeds; returns; receipts; takings; a take; turnover; [取扱] a crop; a yield; a harvest; [生産高] an outturn. 『店の～の takings of shop.』 『家作の～ the proceeds [returns] from rented houses.』 『地所の～ the revenue from lands.』 『～の多い地面 fat land; fertile soil.

a'gari-dan 上がり段 n. a staircase; doorsteps (入口の); a step (1段); the footboard (of a streetcar).

a'gari-fuji 上がり藤 n. the crest of upturned wisteria flowers.

a'gari-guchi 上がり口 n. =*agari-kuchi*.

a'gari-hana 上がり端 n. the edge of an entrance hall.

a'gari-kōmu 上がり込む v. enter {a house}; come [go] in [into]; step [walk] in [into].

a'gari-kuchi 上がり口 n. [入口] the entrance; [表口] the front door; [玄関口] the doorway; the porch; [階段の] the foot [bottom] (of a staircase).

a'gari-me 上がり目 n. 1 [目の] externally turned-up eyes; oblique eyes; almond eyes; inwardly slanted eyes.

2 [物価の] an upward tendency (of the market); [運の] a lucky turn in one's fortune; a rising fortune.

5

a'gari-mono 上がり物 n. [食物] food; [供物] an offering; an oblation; [収穫物] a crop; a harvest; a yield; [廃物] waste.

a'gari-ori 上がり降り n. ascent and descent. 『階段の～に注意する be careful in going up and down the stairs.』 ~*suru* v. go [walk] up and down (the steps); ascend and descend.

a'gari-sagari 上がり下がり n. rise and fall; ups and downs; [相場の変動] fluctuations; price movements. 『～がある rise and fall; go up and down; fluctuate; have [witness] fluctuations.

『～の激しい銘柄は上がった。Volatile issues moved higher.

a'gari-yu 上がり湯 n. =*oka-yu*.

a'garu 上がる v. 1 [登{昇}] go [come] up; rise; ascend; mount; climb (up). 『屋根に上がる go up on the roof.』 『壇上に上がる step on the platform.』 『風呂から上がる step out of the tub.』

『汽車の窓から見ていると、わんだん電線が上がったり下がったりするように見えた。As I looked out of the train window, the long curves of electric wires seemed to rise and fall as they glided past.』 『旗が上がっている。A flag is up.』 『ちょうど彼は風呂から上がったところでした。He had just come out of a bath.』

2 [騰貴する] rise; advance; go [come, look] up. 『急に上がる jump;』 『非常に上がる soar; skyrocket.』 『インフレで生活費がどんどん上がる。Inflation is driving up our cost of living.』

3 [昇級{給する}] rise; be raised; be advanced; be promoted; get promotion. 『(試験の) 5番上がる jump over five places.』 『月給が上がる get a raise [英] rise] in salary.』

4 [進歩する] progress; make progress [headway]; advance; improve. 『(学校の) 成績が上がる show a better school record.』 『腕が上がる gain in skill; improve in one's skill [at, in].』

5 [入る] enter {a parlor}; go [come, step] {into a house}. 『学校に上がる enter [be admitted into] a school.』

『彼女は、どうぞ上がりになってコーヒーでも召し上がりたいと言ってくれた。She invited me in for coffee.』

6 [訪問する] call {on a person, at a person's house}. 『今晚それをいただきに上がります。I will call for it this evening.』

7 [供物が] be offered.

8 [生じる] issue {from}; accrue {from}; be derived; be obtained.

『地所から上がる利益 profits issuing [accruing] from lands.』 『家作から100万円上がる have an income of 1,000,000 yen from one's rented houses.』 / The houses yield a rental of 1,000,000 yen.

9 [終わる] be over; come to an end; be through with {a task}; [仕上がる] be completed; be finished; be ready to serve {料理が}.』

10 [足りる] be sufficient; cost no more than.

『費用はいくらで上がるだろうか。What will the cost come to?』 『旅費は2千円で上がるだろう。Two thousand yen will cover (the) traveling expenses.』 『思ったより安く上がった。It was less expensive than expected.』

11 [死ぬ・枯る] die; be dead; [雨] stop; clear off; pass over [off]. 『雨が上がった。It has stopped raining.』

12 [商売がだめになる] fall off; be ruined; go to the dogs. ⇔ *agatari*.

13 [蚕] begin spinning.

14 [捕われる・獲得される] be arrested; be caught; be rounded up; be nabbed; [発見される] be found; be recovered.

『犯人はまだあない。The culprit is still at large.』 『水死者の遺体はまだ上がらない。The drowned body has not been recovered yet.』 『色々証拠があつた。Various proofs have been secured.』 『警察の方には証拠があついている。The police are in possession of evidence.』

15 [飲食する] take; have; eat; drink.

『どうぞ取ってお上がり下さい。Help yourself, please.』

16 [興奮する] lose self-control; lose one's composure [presence of mind]; get excited; get hot [wild, mad]; get nervous. 『舞台で上がる be frightened by the audience; be flurried on the stage; have [get] a stage fright; suffer from stage fright.』 『放送であがつしまう suffer mike fright.』 『試験であがつしまう suffer mike fright.』 『試験であがつしまう suffer mike fright.』

17 [【すごくなど】] 上がりになる come to the finish; finish. 『1番である出来 out first; gain [win] the first place.』

18 [油で揚がる] fry.

a'gatta'ri あがたり n. (§) 1 ～だ [人が] be put out of business; [商売が] fall off; be spoilt; go to the dogs; 『俗』 go broke.

『商売は～だ。My business is ruined [broke].』 / It's all up with my job. 『あの男もう～だ。He is done for.』

a'ge' 揚^フ n. [油揚] {a piece of} fried bean curd; [揚げ物] =*age-mono*. 『～油 frying oil.』 『(天ぷらの)～玉 bits of deep-fried tempura batter.』 『～出し bean curd fried without coating.』

a'ge² 揚^フ n. [着物の] a tuck.

『揚げを』 ～をする make a tuck {in a dress}; tuck {a dress}.』

『～を下ろす undo [let out] a tuck.

a'ge-ashi 揚足 n. 『～取り faultfinding; quiddity.』 『～取り屋 a faultfinder; a carpenter; a caviller.』 『～の取りっこをする cavil at each other's faults.』 『～を取る trip {a person} upon his own words; fault {a person} on a slip of the tongue; carp [cavil] at a fault; find fault with {a person}.』 『彼が反対を唱えたのは～取りなのだ。His objections were made in a captious spirit.』

age-ba 揚げ場 *n.* a landing stage [place]; a wharf.
age-butā 上げ蓋 *n.* a movable floorboard; a trapdoor.
age-chō 揚超 *n.* 〔経〕 excess of withdrawals over payments in the public-to-government balance.
age-lōo 揚げ戸 *n.* a push-up door; a shutter to open by pushing up outwardly with a stick. 『～を下ろす pull down a shutter.
age-ha-chō 揚羽蝶 *n.* 〔見〕 a swallowtail (butterfly). 『～科 Papilionidae.
age-ita 揚げ板 *n.* =age-butā.
age-ku 举句 *n.* 1 [終り] 『～(の果て)に in the end; finally; ultimately; on top of all this; as the last consequence; as the final outcome; in the upshot; to crown [cap] all; to make matters worse. 『よくよく考えた～ after much thinking. 『色々不幸に合った～ to complete one's misery [the sum of one's miseries]; to complete [add to] one's misfortune. 『長くわかった～ after a long illness.
2 ～の果てが刑務所入り. The upshot of the matter was that he was sent to prison. 『さんざんくちをやった～ 身上をつぶした. He went on gambling until at last he lost all his fortune. 『口論の～なくなり合いを始めた. The quarrel ended in their coming to blows. 『さんざん罪を犯した～に殺人をした. He committed murder to top off the varieties of crimes he had perpetrated.
2 [連歌の] the last line (of a *renga*).
age-kudashi 上げ下し *n.* vomiting and purging [diarrhea].
~ suru *v.* vomit and purge; have an attack of vomiting and diarrhea. 『今朝から～だ. He has started giving at both ends this morning.
age-mado 上げ窓 *n.* a push-up window. 〔morning.
age-maki 總角 *n.* a style of women's hairdo in the Meiji era, in which the hair is twisted into a knot on top of the head and held in place with a pin.
age-maku 揚げ幕 *n.* an entrance curtain.
age-mealnjū 揚げ饅頭 *n.* a fried bun.
age-mochi 揚げ餅 *n.* a fried rice cake.
age-mono 揚げ物 *n.* fried food; a fried dish; a fry.
age-na 揚げ鍋 *n.* a frying pan; a frys.
age-oroshi 上げ下し *n.* raising and lowering; taking up and down; [荷物の] loading and unloading. 『箸の～にもやかまい be exacting in trifles; be fastidious [finical, finicky] about others' behavior.
ageru 上揚・举げる *v.* 1 [上へやる] raise; upraise; elevate; lift (up); send up (a kite); put [get] up; hold up; 〔海〕 [帆を] heave out; [帆りなど] heave up; [陸] land. 『本を棚に上げる put a book up on a shelf. 『名号を揚げる rise to fame; achieve fame. 『両腕を擧げる throw up one's arms. 『顔を上げる raise one's face; look up. 『(蛇などが) 頭を擧げる rear its head.
『上げて下さい. Help me up. / Let me up. 『それ上げろ! 帆を上げる時の令令! Hoist away! 〔重量挙げて〕合計 340 キロ举げた. His total lift was 340 kilograms.
2 [ほめる] praise. 『上げたり下げたり, 馬鹿にしてらあ. Now you praise, now you blame. You are making a fool of me.
3 [増す] increase; [引き上げる] raise; advance; 〔口語〕 hike; 〔口語〕 boost. 〔給料を上げる give (a person) a raise [英] rise]. 〔賃金を上げてもうらう have one's wages raised [put up]; get a raise [英] rise] in salary.
4 [昇級させさ] raise; promote; elevate; [任用する] employ; appoint. 〔委員に举げる appoint (a person) on the committee.
5 [吐く] fetch [throw, give] up; vomit. 『上げなくなる feel sick; keek.
6 [招じ入れる] show [usher] in; allow [admit] (a person) into (a house). 『客を2階へ上げる show a guest upstairs. 『犬を家へ上げる let [bring] a dog into the house. 〔料理店などで〕客を上げない refuse a guest.
7 [入れる] send. 『子供を学校へあげる send [put] one's child to school; enter one's child in school.
8 [与える] give; let (a person) have; offer; present (a person) with (something); present (something) to (a person).
『この本はお前に上げる. This book is yours [for you]. 『これを君に上げる. Here is something for you. 『まだ無料で上げる. You may have it for nothing. 『いくら上げたらいいのか. How much do I have to pay? 『ひとり娘ですよ上げられません. She is my only daughter and I can't allow her to marry into another family. 『千円上げようといった. He offered [said he would give] me 1,000 yen. 『ビールを上げましょか. Will you have [May I offer you] some beer?
9 […でやる] 『切符を買って上げよう. I will get a ticket for you. / I will get you a ticket.
10 [供える] offer; make an offering (of flowers).
11 [渡す] hand (a thing) to (a person).
『この書類を上げておこう. I will leave these papers with you.
12 [終える] finish; complete; be through (with). 『書き上げる finish writing; be through writing.
『その書物を上げた. I am through with the book.
13 [(幾らか)済ます] 『旅費を3千円であけるようにする so arrange [see to it] that the traveling expenses shall not exceed 3,000 yen. 『安く上げる make (it) less expensive.

14 [挙式する] hold; observe; perform; solemnize. 『結婚の式をあげる celebrate a wedding [marriage].
15 [示す] give (an example); mention (a fact); adduce (proofs); produce (evidence); [引用する] quote (a passage from a book); cite (an instance); [列挙する] list; enumerate.
『例を挙げれば限りがない. Examples are too many to be cited. 『名前は全部ここにおぼる. All persons are named here. / All the names find mention [are mentioned] here.
16 [子をもうける] have; get; [母が] bear (a child); give birth to (a child); [父が] beget. 『1男2女をあげる have a boy and two girls born to one.
17 [よくする] improve; advance. 『腕を上げる improve one's skill (at, in); improve in ability.
18 [髪をゆう] dress; do (up); 〔米〕 fix (up).
19 [検査する] arrest; round up; catch; 〔口語〕 nab; 〔口語〕 pick up; 〔口語〕 pinch. 『あがられる be arrested; be rounded up; be caught; 〔口語〕 be nabbed. 〔警察に】 捜索される be taken to the police station. 〔犯人などが】 まだおられない be still at large.
20 [芸者を呼ぶ] engage; hire; call in.
21 [揚げ物にする] fry. 『深なべに十分油を入れて～ deep-fry. 『野菜をサラダ油で～ fry vegetables in salad oil.
22 [結果を] achieve (good results). 『純益を上げる gain (clear) a net profit (of one million yen).
23 [残らず立ち去る] [⇒ age-te] 国を挙げて休戦を喜んだ. The whole nation rejoiced over the armistice.
age-sage 上げ下げ *n.* [運動] raising and lowering; [ほめることだけなし] praise and blame; [抑揚] rising and falling; intonation. 『～窓 a sash window; double-hung window.
age-shio 上げ潮 *n.* [潮が上がる] the inflow [rising] of the tide; [潮] the flowing [rising, flood, swelling] tide. 『～に at high tide. 『～に乗る take the tide at the flood [flow].
『今は～だ. The tide is rising. / The tide is (coming) in.
age-sōba [ソロボ] 上げ相場 *n.* [取引] bull market; bullish market; rising quotations; an upswing in the stock market; 〔米〕 long market.
age-te 举げて *ad.* all; whole; in a body; solidly; 〔仏〕 en masse. 『全財産を～事業に投じる invest all one has in an enterprise; stake one's whole fortune on an enterprise.
age-tsura あがらう *v.* take up (a matter) for discussion; discuss (a matter); comment on (a matter); make an issue of (a matter); [批判する] criticize.
age-itto アゲット *n.* [めのう] agate.
age-zoko 上げ底 *n.* a raised bottom; a false bottom; the kick (of a bottle). 『この箱は～だ. This box has a raised bottom.
age-gezu -上げる *phr.* 『あの男は3日に～やってくる. He calls on me every three days or less.
age-zuna 揚げ索 *n.* 〔海〕 a halyard.
age-o 阿魏 *n.* 〔植〕 an asafetida. 『～チンキ tincture of asafetida. 〔油〕 oil asafetida oil.
age-to 頸 *n.* (E) a gill. =ago, era.
ago 頸・頤 *n.* [口の上下] the jaws; [解] maxilla (pl. -lae); [下顎の前部] the chin; the chops; the mandible (哺乳動物・魚類などの, 特に下顎); [道具の] jaws; [釣針などの] a barb. 『二重～ a double chin. 『こけた～ a receding chin. 『～あ〔バイオリン〕の chin rest; [かぶとの] a beaver. 『～示数〔人類〕 a gnathic index.
〔頬の〕 ～の〔解〕 maxillary; [解] mental; [解] genial. 『～の長い人 a lantern-jawed person; a person with lantern jaws. 『～のこけた with drooping jaws. 『～の角張った square-jawed. 『～の出た with prominent jaws. 『～の張った jowly. 『～の突き出た〔人類〕 prognathous. 『～の骨 a jawbone; a maxillary (bone). [=gakkotsu] 『二重～のdouble-chinned.
〔頬が〕 ～が3段になっている have three chins; have a triple chin. 『～が上がる lose one's means of livelihood; starve.
〔顎に〕 バイオリンを～に当てる chin a violin. 『バイオリンを～にあてて彈く play a violin under the chin.
〔顎で〕 (人を) ～で使う turn (a person) round one's little finger; have (a person) at one's beck (and call); lead (a person) by the nose. 『(人を) ～であらう turn up one's nose at (a person).
〔顎を〕 ～をなる rub one's chin; chuckle with delight. 『～をはずす dislocate one's jaw. 『あまり笑って～をはずす laugh one's jaw out of joint. 『～をしゃくる turn up one's nose. 『～を出す get tired out; be exhausted. 『～を引く draw in one's chin. 『手に～をつく rest one's chin on one's hand; prop one's head in one's hands. 『～を突き出す stick out one's chin. 『外套の襟に～を埋めて (walk) with one's chin sunk into one's coat.
『～を引いて, 胸を張れ. Chin down, chest out! 『ブラウンさん, ～を上げて下さい. Chin up, Mr. Brown. 『～を出すな. Keep your chin up! 『～がはずれた. My jaws got out of joint [became dislocated]. 『よく～がくたみれないね. How you wag your jaw! / You are never tired of talking, are you? 『～に一発がんとくらわせてやつた. I let him have it right on (the point of) the chin.
ago-hige 頸鬚 *n.* a (chin)-beard; a goatee (山羊鬚). 〔頸鬚を〕 ～を生やす grow [raise, wear] a beard. 『～を生やすした